根源實紫（げんみむらさき）

上の巻 九

根源實紫

上巻

笠亭仙果作

梅蝶樓國貞画

泉喜太板

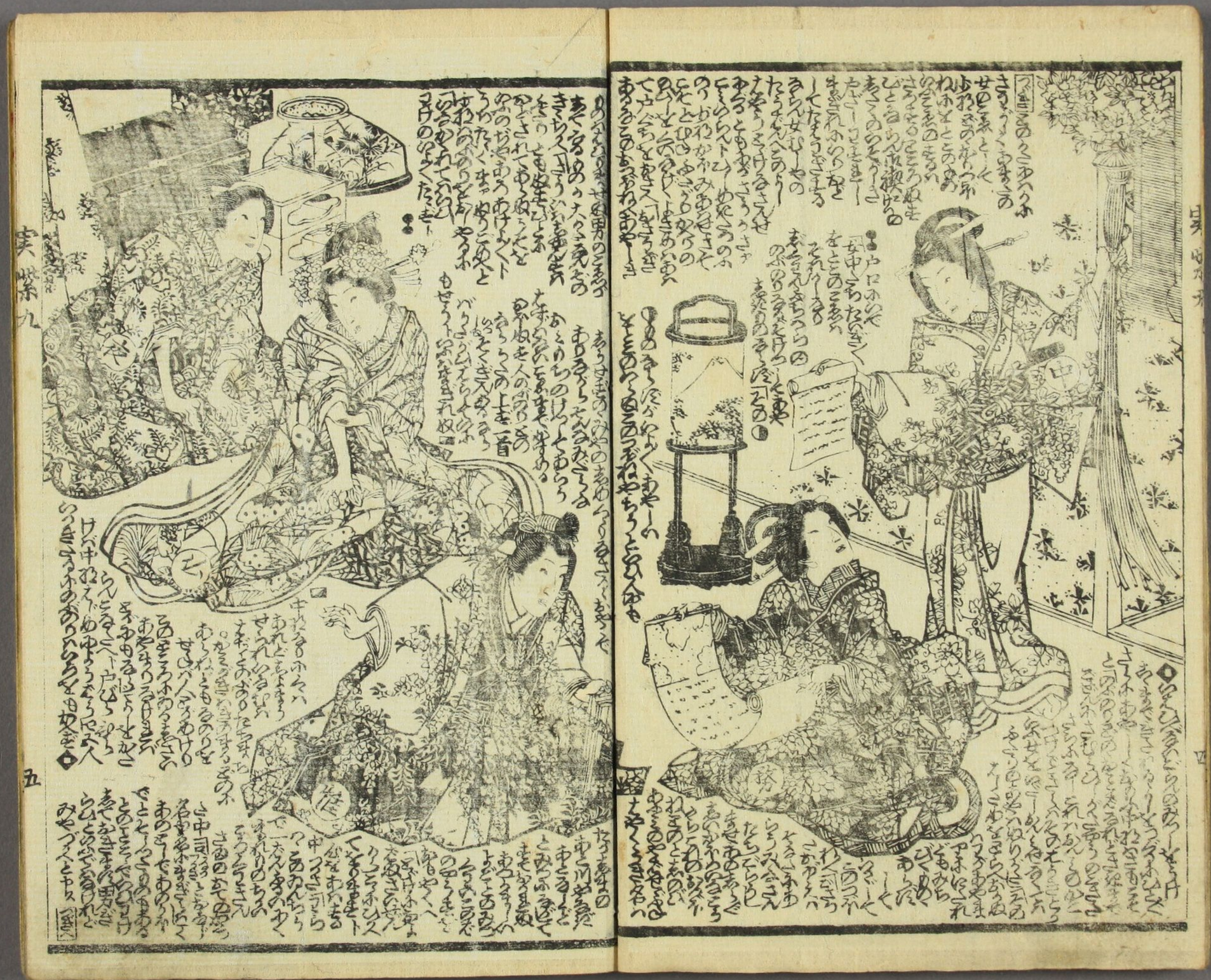
紫式部
菱水
童朋輩
を見る

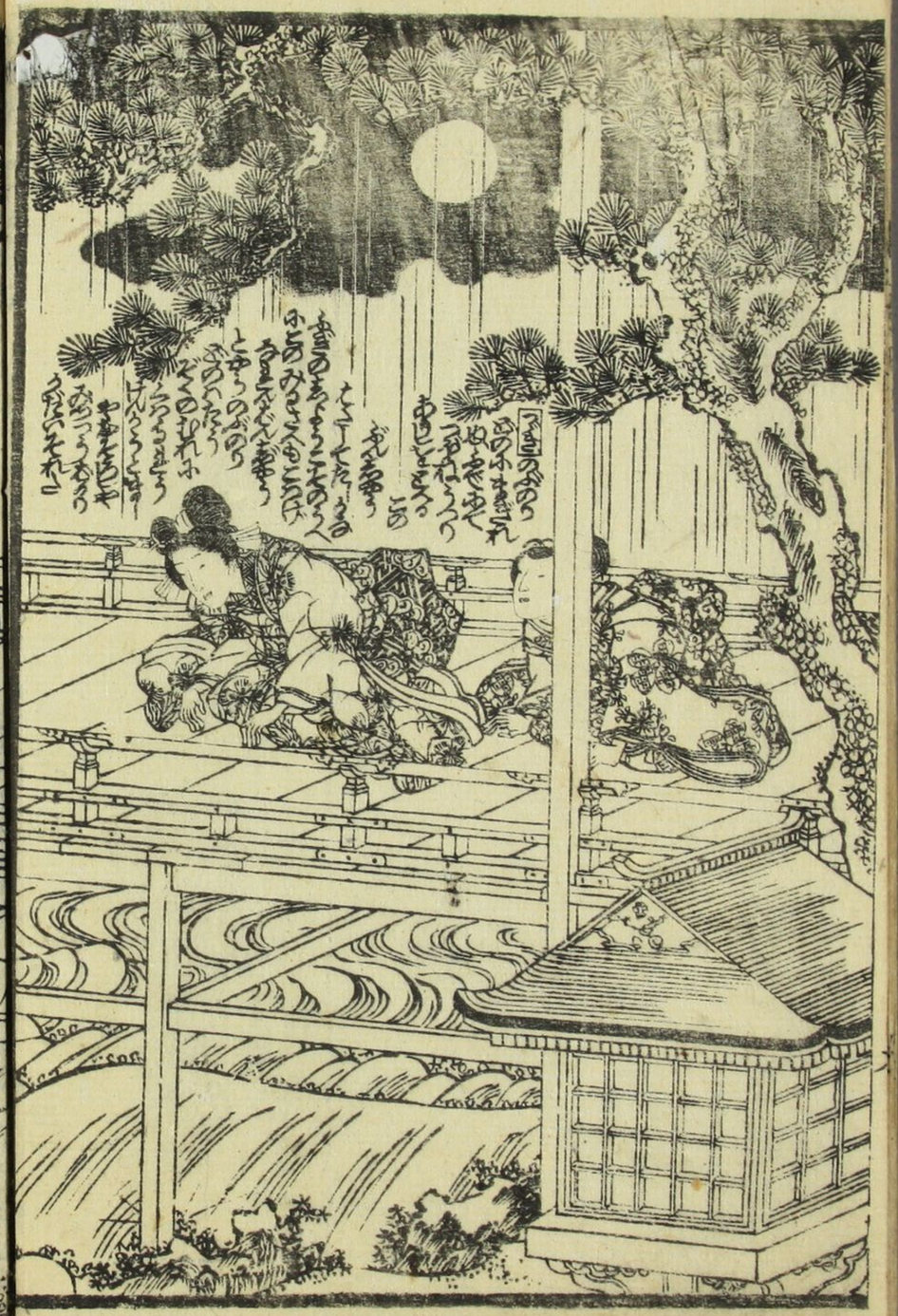
惟規斎院の
ものがたりとり
伝古へ
おもむく

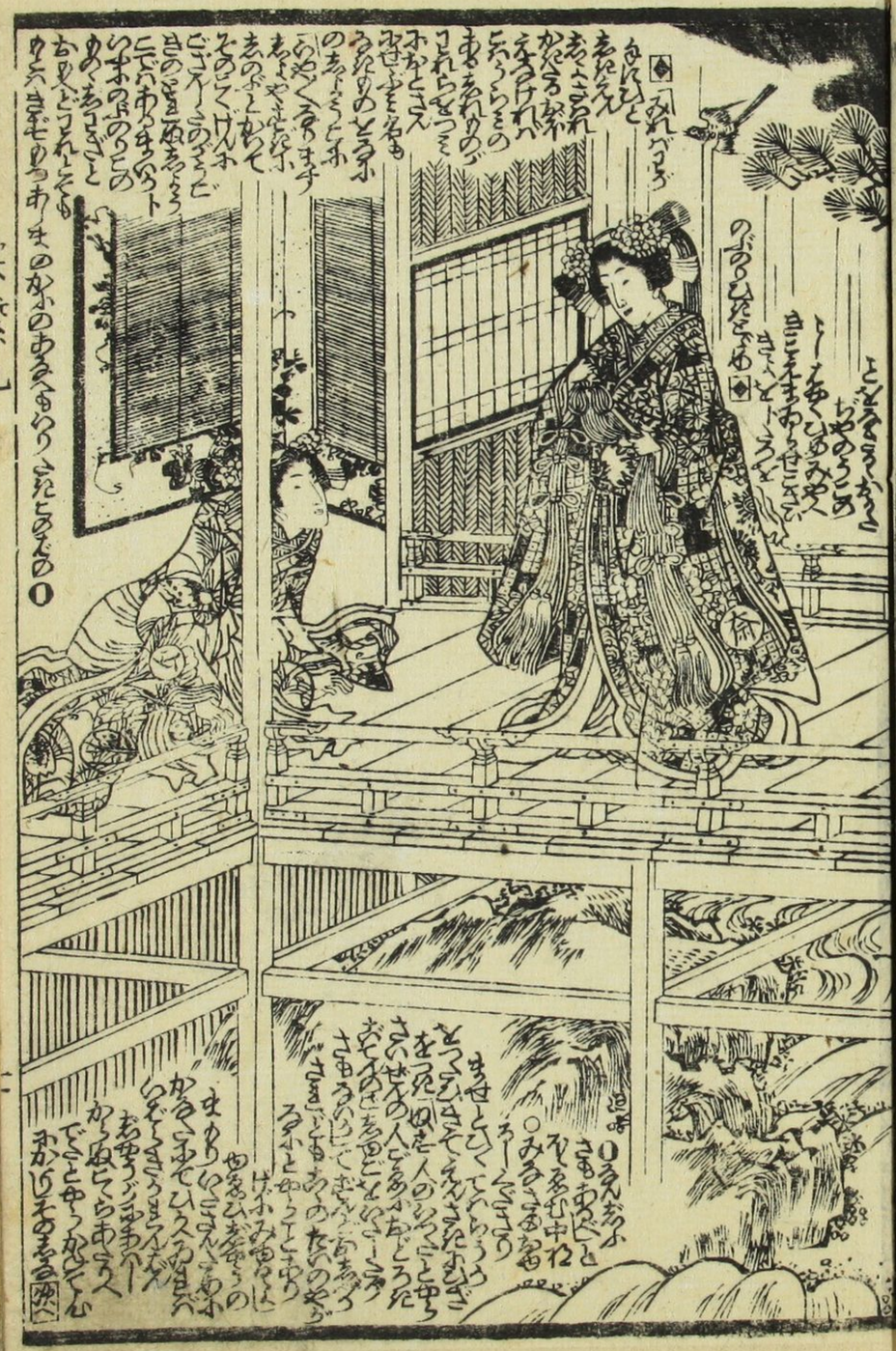
香炉の外宮本。如意。孔雀も亦捷女紀が我らの名
妓史おもふ如れ拙婦ゆゑ蟹島は地名家號とぞ吾
所為史賓客を迎るさる昔は必ずくゆゑ海賊丸の留
も拾艾抄楽器の祝は其るもそれど斎院の弓和
も悲ぞも契ふ天の荒る事。九織の所と云る
斎院紀は拠惟規が禾丸殿の狭らるは
七編の序にいるるめ也は那と根を
芝生夢延て世ふ肚も踏ゆがてく桜
ふりける たゞ一中ねのいふせんのうえ
丑義条にあり

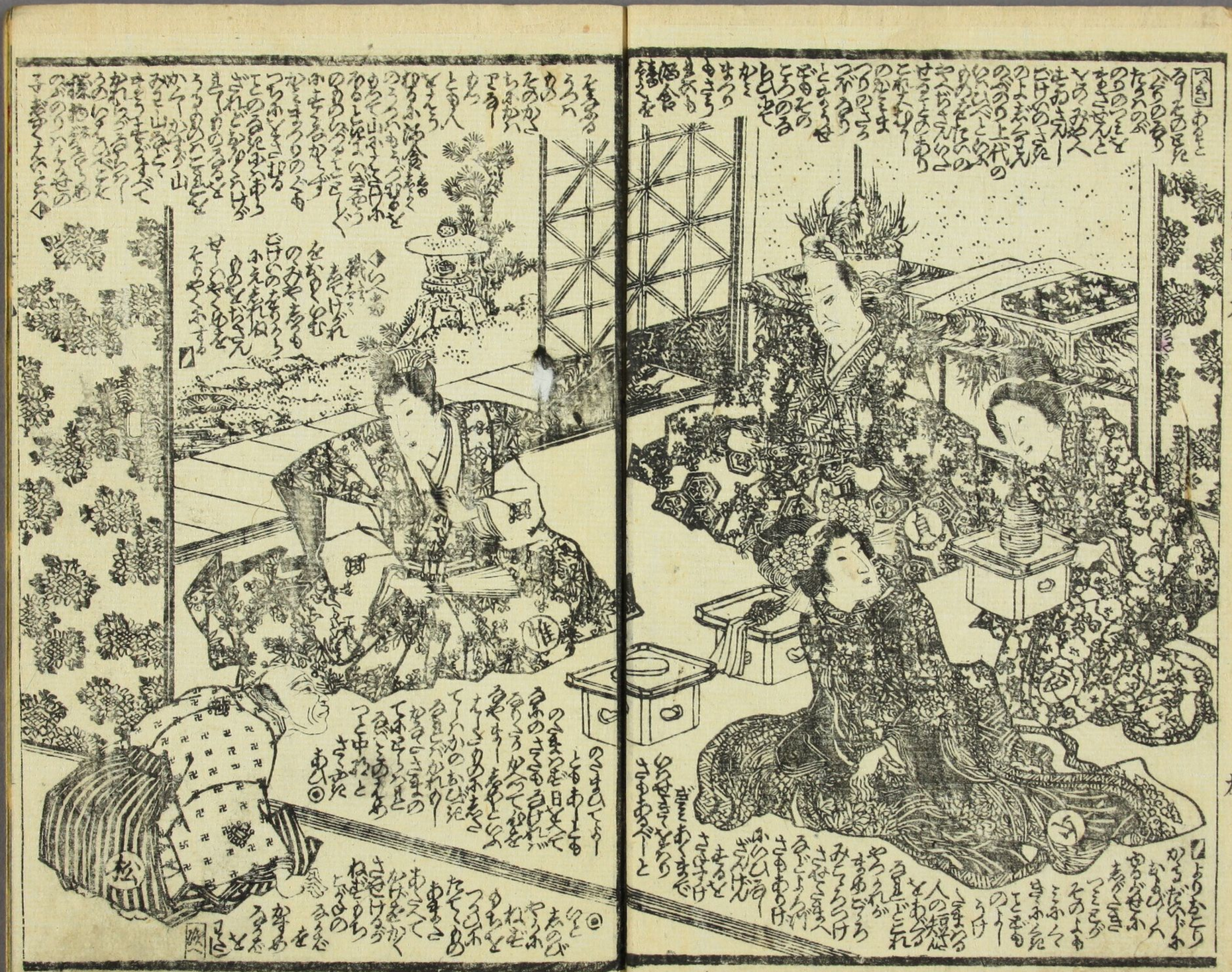
内辰履端
新刊

笠亭仙果作
梅蝶楼國貞画









曲亭馬琴作　葛飾北斎画

新編金瓶梅全輯　黄金水大盡盃　一篇大尾

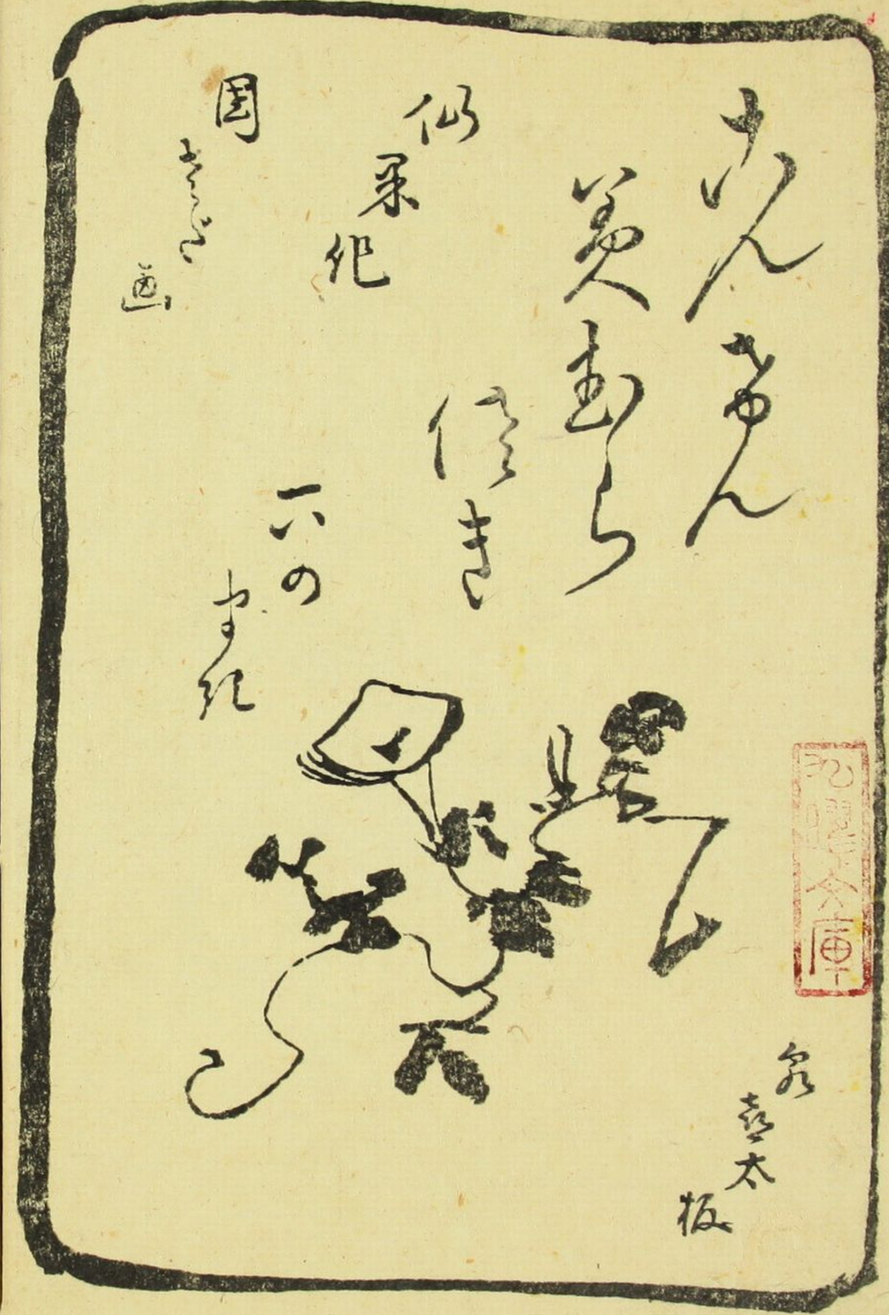
同　女郎花五色石臺　十篇大尾　柳亭種彦作　琴丁賀義人録

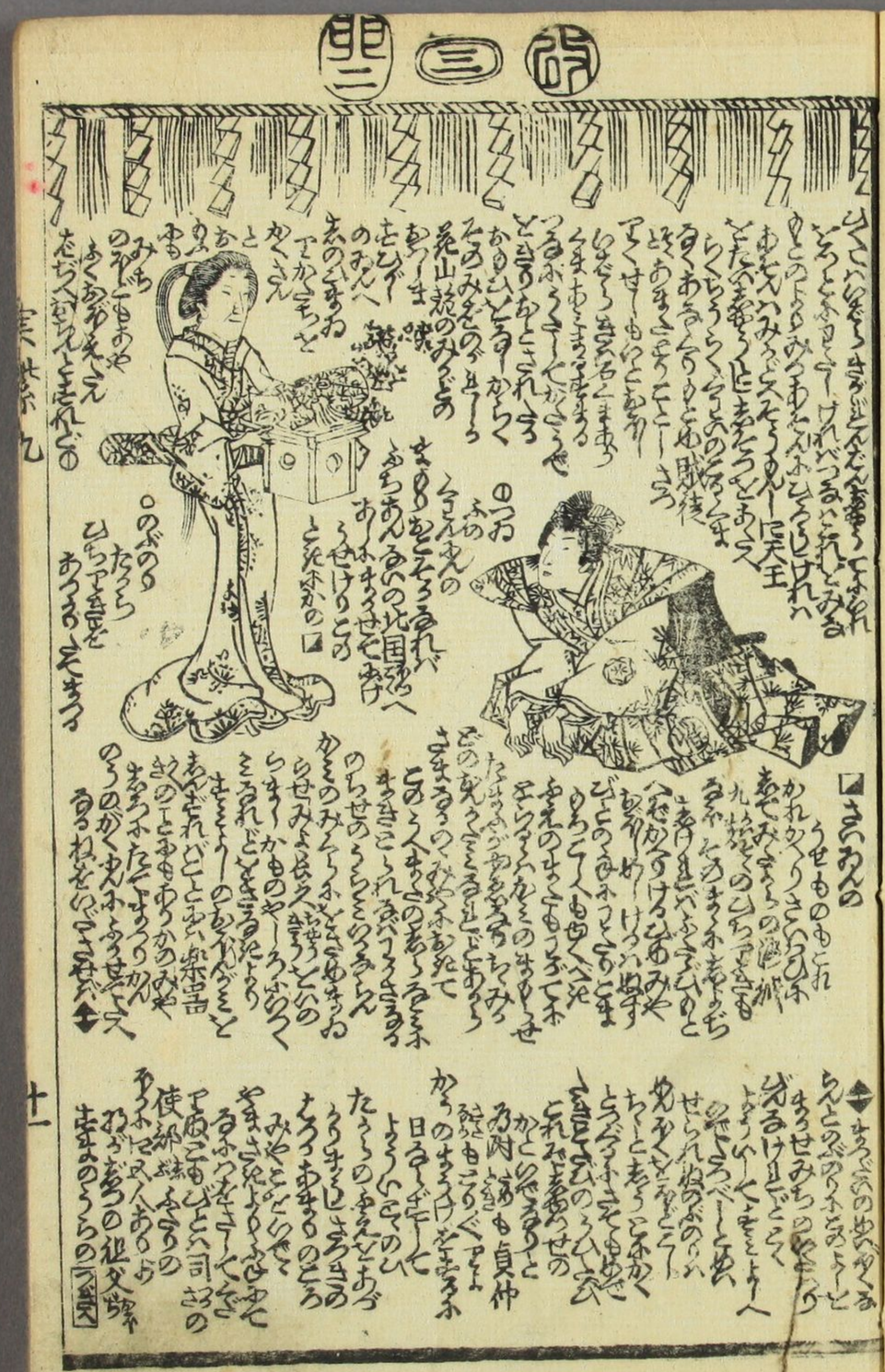
同　小女郎蜘怨芋環　三篇大尾　笠亭仙果作　根源實紫

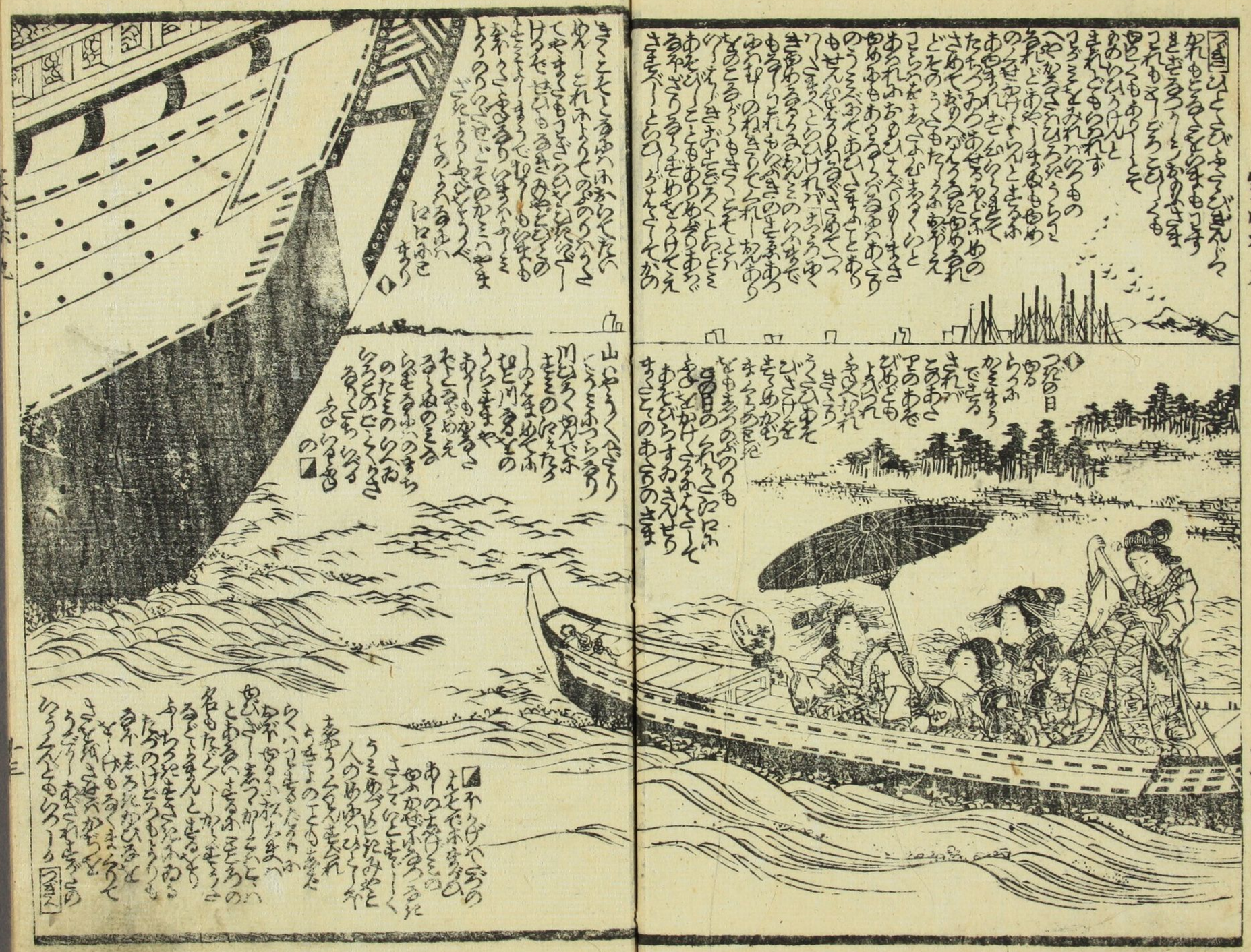
柳下亭種員作　児雷也豪傑譚　柳煙亭種久作　假名反古　一休草紙

根源實紫

下の巻九


仙果化
国
一八の
寿太板





鳴

松

十返舎一九作
滑稽道中膝栗毛

柳水亭種清作
不思議塚小説櫻

同
風俗浅間ヶ嶽

関太郎餘ヶ譚
五篇大尾

柳水亭菊水作
豊時田秋濃新雁
三篇大尾

柳水亭種清作
猛田姉妹新白石
同

京橋区銀座四丁目三番地
出版人 山中喜太郎

猩
袁
作

国
貞
画

相源
夢ものがたり

甲子之春

意雲
拵示